



## SHIRATAKA RED (シラタカ・レッド) とは？

日本の紅(あか)をつくる町の紅(あか)いもの、名付けて「SHIRATAKA RED」です。紅花をはじめとして、りんご、さくらんぼ、ミニトマトなど紅(あか)い果物や野菜のほか、米沢牛、馬肉、最上川のもみじ鮎、深山焼の登り窯の炎などさまざま白鷹町の紅(あか)色に注目、日本文化に古くから伝わる紅(あか)の魅力。「日本の紅(あか)をつくる町」から全国に発信しています。



**紅(あか)色に注目し  
全国に白鷹町の名を**

前述のとおり、町では、紅花生産日本一「日本の紅(あか)をつくる町」をキャッチフレーズとして、紅(あか)色に注目した特徴ある生産品や観光にスポットをあてています。

そして、そこでさらなる磨き上げを行い、全国に白鷹町の名を広めるため、平成27年11月に白鷹町「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部(横澤浩本部長)を設置。平成29年度は、7月と12月、そして3月に本部会議を開催し、事業の取り組みの全体プロデュースを図っています。

また、町の観光交流推進計画策定から2年半が経過し、重点施策として掲げた「日本の紅(あか)をつくる町」推進事業について、ここまでの検証とこれからの取り組みについて検討するため「日本の紅(あか)をつくる町戦略会議(佐藤哲夫委員長)を設置。各分野・世代の13人に委員を委嘱し、さらに町観光交流大

### しらたかの紅(あか)を東京でPR



「SHIRATAKA RED」の名付け親でもある青木実さんの地元東京自由ヶ丘で、青木さんプロデュースによる「シラタカ・レッドフェア in 自由ヶ丘」を開催。都内の人に「SHIRATAKA RED」を知ってもらいました。このほか、都内で開催される移住相談会などでもPRしています。

県外でのイベント情報などは、町のFacebookをチェック！

 白鷹町(山形県)  
<https://www.facebook.com/town.shirataka/>

使の青木実氏にアドバイザーを依頼。今年度は2回の会議が開催され、「日本の紅(あか)をつくる町」や「SHIRATAKA RED」についてさまざまな意見が出されました。

**ロゴマークを使って  
手軽に情報発信**

町の封筒や看板などに使われていた「日本の紅(あか)をつくる町」及び「SHIRATAKA RED」のロゴマーク。昨年6月から、申請をいただければ誰でも使用で



ロゴの種類は現在8種類。申請すれば誰でも無料で使用することができます。手軽に情報発信ができます。

きるようになり、現在までに52件の使用申請を許可。印刷物や商品などに使用いただきました。